

20010914

## ANTIQUE GRIFFON



「告知で悪い方に申し謝らないが、これは『 Antique Griffon』の通称ダン、に彩色したもの（詳しい説明はいずれ単行本で）。いくらか修正した時点の番号が付いているが、ラフは93年のスケッチブックに「画像2/ミロップラフ」と「画像3/006,007ppラフ」に挟まれる形で描いてあった。キャラの原などに昔の絵柄が残っており細かい、日焼けや荒れの見られない白い肌が関係家風の衣装や装飾と合わないが、王立女学院生のお嬢様という事もあるし、ご愛顧かな。地図は市販の実材を使用した。

ファラの通う女学院には、活動を活発したり進捗を完らしたりする部対組織がある。何かの秘密結社らしいが、正体は判っていない。また、女学院も単なる考古学系の活動だけでなく、聖遺物やオーパーツに関わる怪しい研究を行っている。ファラは格闘の身体能力と高度な専門知識を評価され、1年生であるにもかかわらず支援チーム付きの海外活動を許された後進生である。よくある「学院の怪談帳」の類を耳にする事もあるが、女学院の最深部で何が行われているかはまだ知る由もない。

GALGREASE 004

WQDQ  
WQF  
QWESF

WILD WET QUEST

時が1945年、王立聖遺物  
研究女学院生ファウ・L・オリ  
ンは、内戦の続くガベル共和国  
(地図には無い)奥地にある文明  
遺跡の事前調査に出かける。  
偵察衛星で発見したヒラミッ  
ドだ。本国の支援部隊を使い飛  
行機で(今どき爆撃機!)国境  
を否かに超えて、いそいそと  
向かった兵士達や、いかがわ  
しい数騎隊員などに面会  
無事に進んでいる。噂が広まる  
前にジャングルに入った方が  
安全かもしれない。

Phara L. Ori

WQDQ  
WQF  
QWESF

ガベル共和国内に残れる水と  
や大抵は無い。かつて国連の  
査察チームが使用していた簡単  
な施設が海寇の穴外に残され  
ており、彼女はそこで整備を調  
整するつもりらしい。

衛星を使った事前調査では、地  
図は封印されたまま放置されて  
おり、人の気配もなかった。現  
地の入者が集まっているだけ  
ば、査察チームの跡取り調査  
通り「幾つかの押収した武器」  
などが秘匿の金庫に残されて  
いる筈だ。もちろん番号と鍵は  
持って来ている。

彼女は施設で発電機と水の蒸留  
装置を稼働させ、浴室で準備し  
ているトイレとシャワールーム  
を使った後、髪、靴、下着など  
に防虫措置を重ね、装備を調  
えて未踏のジャングルに単身入  
っていった。





JUNGLE HEAT MAX 10

JUNGLE HEAT MAX 10  
JUNGLE HEAT MAX 10  
JUNGLE HEAT MAX 10





案の定、ファラの存在を聞き付けた連中が追跡隊を送り込んで来た。入団時に利用した複葉機の小隊（といっても3機だが）だ。ガベル共和国では旧共産圏の兵器などが主流なのだが、この地域は切り立った崖が多い為か、改造されて原形の判らなくなっているカーチスホークもどきの複葉機が現役らしい。速度が速い分、かえって厄介だ。ファラを捕まえたいらしく銃撃しては来るものの、狙っては来ない。こんな所の小隊は、こまめに上層部に報告を上げるような事はせず、まず自分達が金目のものを手に入れて存分に楽しむ事のみ追求するものだ。おかげで大規模な部隊に包囲される様な事は無いが、それだけに軌跡に追跡してくる。崖壁の構穴に何かしらエジプト風の文字が刻まれた門の様なものがかけてあったが、充分調べる間もなく銃撃で粉砕されてしまった。エジプトからはかなり距離があるのだが、ピラミッド形状の遺跡という事からも何らかの関連性が予想されていただけに確認できなかったのは残念だ。追跡隊を掃討できれば、門の残骸を集めて何か読み取れるかもしれないが……。面倒な仕事は専門チームに任せる事にして、ファラは門にからまっていたヘビ（何ヘビかな？）を振りほどきながら、関連の査察チームが使用していた施設の金庫で手に入れた炸薬弾丸の詰まったケースを取り出す。出国時に利用できるかもしれないので複葉機1機は陸しておきたいが、他は撃ち落とすほうが良さそう。にしてもヘビの一匹が下着の防虫剤に惹かれているのか、追跡隊より執拗に絡みついてくる（誰だヘビを庇護してるのは？）。





# WILD WET QUEST

G.A. TUGARE 004

SHIROW MASAMUNE



# WILD WET QUEST

GAL GRESSE 004

SHIROW MASAMUNE